



「がん診療連携拠点病院」 の指定について

大和市立病院では、がん診療連携拠点病院の要件を満たすため、平成22年よりプロジェクトチームを立ち上げ、職員の協力のもと様々な取り組みを行ってきました。そして、平成24年4月に厚生労働大臣より指定を受けることができました。

がん診療連携拠点病院とは、地域の住民の皆さんが日常の生活圏で質の高いがん医療を受けることができるよう一定の要件を満たした病院を厚生労働大臣が指定します。神奈川県では15の医療機関が指定されております。

がん診療連携拠点病院の役割は、①専門的ながん治療の提供、②地域のがん医療連携体制の構築、③情報の提供・相談支援の実施と大きく3つあります。

①の取り組みとして、手術、抗がん剤治療、放射線治療などを組み合わせて行い(集学的治療)、外来化学療法や緩和ケアにも力を入れています。さらに、がんに関する症例検討会(カンサーボード)を行い、がん患者さんの状態に応じた適切で専門的な治療を提供できるように、がん医療の向上に努めています。

②の取り組みとして、大和市立病院が中心となり、地域の医療機関の皆様が参加できる緩和ケア、化学療法、放射線治療、その他がんに関する研修会などを開催し、地域とともに「がん治療の向上」を目指しています。また、地域連携クリティカルパスを整備し、地域の医療機関との医療連携を強化していきます。

③の取り組みとして、患者さんやご家族、地域の医療従事者へがんに関する情報提供を行います。また、がんに関する問い合わせにも対応しています。そして、国のがん対策向上のために、国立がんセンターにがんに関する情報を提供しています。

これからも専門的ながん治療と、がんに関する様々な情報を提供してまいりますので、皆様よろしくお願いたします。



【3月28日、神奈川県庁にて院長が健康福祉局長より指定書の交付を受けました】

がん相談支援室のご案内

相談窓口：病院1階 地域医療連携室

受付時間：平日9:00～16:00(祝日、年末年始の休診日除く)

電話番号：046-260-3411

がん相談支援室は、がん患者さんやご家族、地域の方々からの「がんに関する相談」を無料でお受けする窓口です。具体的に次のようなご質問・ご相談に薬剤師・看護師・ソーシャルワーカーが対応します。

- ・がんのことやがんの治療について
- ・今後の療養生活について 等

ご相談内容によって、問合せ時に対応できない場合がございます。その際は、後日改めて対応(予約等)させていただきますので、ご理解ください。



人間ドック講演会のご案内

※参加費用は無料です。どうぞご来場下さい。

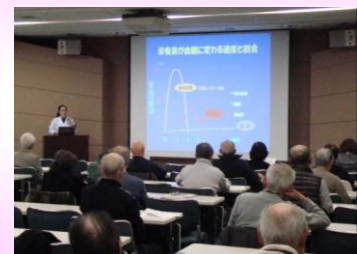
日時 平成24年6月28日(木)午後2時30分～

場所 市立病院 3階講堂

内容 1. 『胃癌について』 2. 『肺癌について』

消化器内科 上級医長
山本 和寿

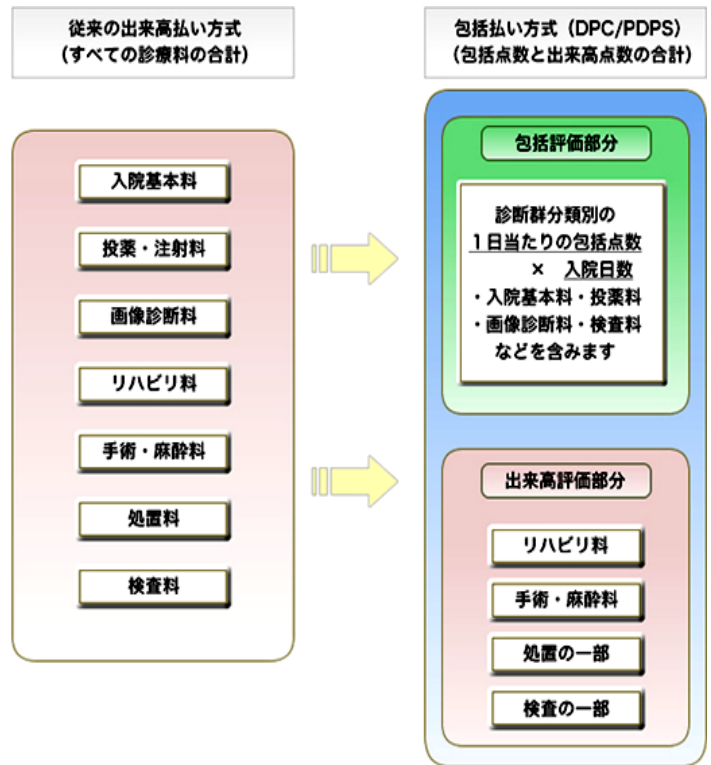
呼吸器内科 診療部長
松本 裕



DPC（診断群分類包括評価）制度の導入について

市立病院は、平成24年4月から、厚生労働省が急性期病院に対して推進する「DPC（診断群分類包括評価）制度」を導入しDPC対象病院となりました。これに伴い、入院医療費の計算方法が、包括払い方式（DPC/PDPS）に変更になりました。

従来は、診療で行った検査や注射、手術などの料金を積算して、診療費を計算する『出来高払い方式』でした。新たに導入する包括払い方式とは、医療の質の向上・標準化を目指した制度であり、あらかじめ厚生労働省が定めた診断群（病名と診療行為の組み合わせ）ごとの1日当たりの定額医療費（包括評価部分）と、定額医療費に含まれない手術や一部検査、処置等、従来通りの出来高払い方式（出来高評価部分）を組み合わせる入院医療費を計算します。これによる支払い方法の変更はありませんが、入院中の場合、入院医療費請求書の発行が、月2回から月1回（月末締め）に変わります。



新任医師紹介

医師22名、研修医4名が、当院のスタッフとして4月から配属となりました。宜しくお願いします。

内科

呼吸器内科
みうら けんじ
三浦 健次

血液・腫瘍内科 科長
こはらざわ ひでゆき
小原澤 英之

腎臓内科
きんぐち しょう
金口 翔

整形外科

ふくむら ひでのぶ
福村 英信
みずま こういち
水摩 晃一
ほんかわ しゅんすけ
本川 俊輔

外科

外科
くまもと ひろし
熊本 浩志
みえの ひろあき
三重野 浩朗
おおいずみ ようすけ
大泉 陽介
はまだ けんいち
濱田 賢一
こうの ようこ
河野 蓉子

呼吸器外科 科長
ますだ だいすけ
増田 大介

泌尿器科

あべ こういち
阿部 宏一

小児科

えびな かなこ
海老名 奏子
すずき けん
鈴木 健
かしわざき ゆうすけ
柏崎 佑輔

産婦人科

ながた ともこ
永田 智子
はしもと ゆうこ
端本 裕子
かとう しょうこ
加藤 宵子
やまもと めぐみ
山本 恵
みね ゆうこ
峰 優子

眼科

みやけ としゆき
三宅 俊之

研修医

すずき のりこ
鈴木 則子
こうの ゆうた
河野 裕太
きうち ひろかず
木内 寛一
ささき しおり
佐々木 しおり



平成23年度患者満足度調査結果報告

業務改善推進委員会

患者さんのご意見やご要望を取り入れ、安心して納得した治療を受けられるように改善するため、毎年、患者さんの満足度についてアンケート調査を実施しています。

○調査の概要

- (1) 調査日:[外来]平成23年7月27日(水)、[入院]平成23年8月1日(月)~7日(日)
- (2) 調査方法:無記名アンケート用紙による4択(非常に満足・満足・やや不満・不満)及び自由意見の記載
- (3) 調査項目:環境面、職員の対応、病状・治療・検査の説明、親類・知人への紹介 ほか

○調査結果(回答率)

[外来]有効回答数 346件 回答率 44.3%、[入院]有効回答数 174件 回答率 40.0%

○全項目とおしての「非常に満足」「満足」等の割合

[外来]86.5%(前回調査83.6%)、[入院]88.4%(前回調査90.3%)

○自由意見(抜粋)

- [外来]トイレが狭い。洋式及び温水洗浄便座を設置してほしい。(多数) 売店が狭い。品ぞろえが少ない。
[入院]病棟のトイレに温水洗浄便座を設置してほしい。(多数)
職員に対する感謝の意見。(多数)

☆上記の自由意見を受けて、平成23年度は主に以下のような取り組みを行いました。

・1階外来トイレの改修工事

- 個室を全て温水洗浄便座の洋式トイレにしました。
- エアータオルを設置し、出入口を自動扉にしました。
- チャイルドシートやベビーシートを設置しました。
- 多目的トイレをオストメイト対応トイレに改修しました。

・病棟トイレの改修工事

- 病棟のすべての洋式トイレに温水洗浄便座を設置しました。

・売店及び食堂のリニューアル

- 売店は品ぞろえを多くし、焼き立てパンを提供しています。また、食堂はメニューを充実しました。

今後も患者満足度調査結果などを受け、より良い病院づくりをめざして改善を図ってまいります。



【↑改修後の外来トイレ画像】

「医療用麻薬」にどのようなイメージをお持ちですか？ 薬剤科 山岡 結

こんな質問をされたら、皆さんは何と答えますか。日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団が、平成23年に医療用麻薬のイメージについて20代から80代の男女1,000人に調査(複数回答)を行いました。その際に一番多かった回答は「痛みが和らぐ」(81.5%)で、次いで「最後の手段だと思う」(59.0%)、「副作用がある」(49.4%)が続きました。その他に「依存になる」(34.2%)、「体に悪い」(21.8%)、「寿命が縮む」(13.7%)「中毒になる」(11.8%)などが挙げられました。

私達が患者さんに医療用麻薬について説明をすると「まだ大丈夫です」「まだ我慢できます」といった答えが返ってくる場合があります。

そのような方の多くは「麻薬は最後の手段」「クセになる」といった不安、「寿命が縮む」といったような迷信、そして「痛みを我慢することが美德」とする日本文化が影響しているように思えます。

痛みは生活の質を低下させます。また、痛みによって食欲不振や睡眠不足になると、体力や免疫力が落ち、癌の治療に悪影響を及ぼすと考えられています。痛みの除去は、手術で癌を取り除いたりすることと同様に、癌治療にとって必要なことです。

当院では、痛みの緩和の推進を目的とした「緩和ケアチーム」があり、薬剤師もチームの一員として活動しています。

医療用麻薬は、「最後の手段」ではありません。正しく使用すれば「寿命が縮む」こともありません。癌の治療には、欠かすことの出来ない薬です。

腸管出血性大腸菌に注意しましょう!



臨床検査科 細菌検査室 高橋 剛

昨年4月に焼肉チェーン店でユッケを食べた24人が食中毒症状を発症して2名の男児が腸管出血性大腸菌で死亡した事は記憶に新しいと思います。

腸管出血性大腸菌とは: 大腸菌のうち、ヒトに病原性を有するものを病原大腸菌といいます。このうちヒトの腸管内で毒性の強い毒素(ペロ毒素という細胞を変性させる毒素)を産生して出血性の下痢を引き起こすものを腸管出血性大腸菌といいます。O157・O111などが知られています。死亡した男児2名からはO111が検出されました。

感染経路: 牛などの家畜の腸管に存在し(家畜は無症状)、糞便がさまざまな経路で飲食物を汚染して経口摂取することで感染します。また、少量の菌量でも発症し、感染力が強く、患者の便などを介してヒトからヒトへの二次感染が起こりやすいので注意が必要です。

予防方法: 食べる前に食品の中心部まで75℃1分以上(O157の逆と覚えましょう)加熱する。まな板・包丁などの調理器具は十分洗浄し、熱湯などで消毒する。井戸水等、水道以外の水を使用する場合は必ず消毒しましょう。

これらが予防方法の基本ですが、**基本のキホンは「手洗いを十分に行うこと」**です。

かんたんリハビリ

リハビリテーション療法科 言語聴覚士 茅島由美

脳血管障害・頭部外傷等で失語症や構音障害といった言語の障害になり、急性期病院での治療を終え回復期リハビリテーション病院で言葉のリハビリテーションを行った後、ご家庭に戻る方も多くいらっしゃることでしょう。機能訓練によって発症時に比べれば理解面・表出面の言語機能は改善したと思いますが、病気になる以前とまったく一緒!と喜べる方は残念ながら少ないのが現状と思います。ご家庭に戻ってからの過ごし方にはデイサービスの利用、以前からの趣味を再開したり新しい趣味の会に参加するなどいくつか選択肢があるかと思いますが今回は『友の会』についてご紹介したいと思います。

言語の障害を持った方がお互い励まし合い、交流を深め、ともに笑える場として生まれたのが『失語症友の会』や『言語の会』です。同じ悩みを抱える本人のみならず家族・ボランティアが集まって交流を図り、触れ合うことで言葉がごく自然に生まれてくる環境を持つことはとても大切です。大和市にもこうした『友の会』が3つあり、保健福祉センターや生涯学習センターで活動しています。ご家庭に戻り『さてこれからどうしよう…』と悩んでおられる方、ぜひ問い合わせて見学してみるようお勧めします。言葉の練習や懇談会の他、旅行やカラオケ大会、楽しく歩こう会、パソコン教室や韓国語講座など皆さん生き生きと活動されていますよ!!



～助産師・看護師募集中～

<お問い合わせ先>
病院総務課 総務調整担当
TEL 046-260-0111 内線 2346

大和市立病院で
一緒に働こう!



大和市立病院 〒242-8602 神奈川県大和市深見西8丁目3番6号 Tel 046-260-0111

<http://www.yamatocity-mh.jp/index.php>

発行人: 病院長 五十嵐 俊久 発行責任者: 副院長 鈴木 博